事業シ	・一ト(令和4年度決算)					30_建	投課_1								
事業名担当課	71100 道路河川等整備推進事業費 建設部 建設課 内線 2321	会計 款 算 項 目	1 一般会計 7 土木費 1 土木管理費 1 土木管理費	7 土木費 1 土木管理費			方向性 3 人と人がつなける 戦略 (2) 利便性の高地域持続的発展計画		、共存する持続可能なまちをつく 一クの構築		便利で強い社会	会基盤を整備します			
		Н	1 工术官理負												
	か目的・概要 (Plan) ・国、県の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で用を図る。 ・河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	快適な道路利	概要 •同盟	会等を活月	用し、事業主体で	ある国及び県等に対して	、事業促進に向けた要繁	望や提言活動を実施			総合計画	等主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
2.事業((千円)	4.令和5	年度予算	[編成(Action))	•	(千円
	歳出事業費(職員人件費を除く)		最終予算	R3	決算 (a)	当初予算(c)	最終予算	.4 決算 (b)	增減 (b)-(a)	要求	R5予算		実施計画額 市長査定額(d)	増減	3,300 t (d)-(c)
			3,2	240	2,604	3,647	3,647	3,498	894		3,949 3,957		3,95	1	310
4+-	国费(,													
特定財源	県費 ()							i						
一般財	その他()		2 1	240	2,604	3,647	3,647	3,498	894		3,949	3,957	3,95	,	310
個票枝番	主な事業内容	3,4	240	2,004	3,047	3,047	3,490	894	査定		3,937	説明		311	
	各種同盟会への負担金	20	900	2,474	3,357	3,357	3,235	761		3,667		De-51			
		段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。								※入札に影響	するため公開に道	適さないなど、記載省略(※	※)する場合があります。		
	3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施 ・道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ13回(7月~11月)要た。・361号中之宿工区道路改良事業の完成に伴い、国道361号改修促進施工者に対し感謝する式典「感謝のつどい」を実施。・国道41号門坂災害復旧工事の完成に伴い、飛騨地域基盤整備促進施工者に対し感謝する式典「感謝のつどい」を実施。	t会基盤の整備促進に向	寿(Check) R5.6 コけ、国、県等へ15回(5月 塩屋間」開通式に伴い、	月~11月)要望書を提出	1 !	担当課 予算要求 ポイント									
評価等	・飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うと共に、同盟	会負担金の低源	を図った。	評任	·飛騨地垣	は3市1村の首長による交	カ果的な要望活動を行う。	とともに、同盟会負担金	の低減を図った。	財務部 査定の 考え方					
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の める。	シ実施に努 □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R3完了 R4完了予定	以考	年度 降の ・社会基盤 え方 める。 当課)	全の早期整備に向け、関	係機関と連携した要望や	提言活動の実施に努	✓ 維持·改善拡大縮小廃止検討R4完了R5完了予定	市長査定の考え方	·財務部査定 <i>0</i>	りとおり			

事業シ	・一ト(令和4年度決算)					30_建設	課_2										
事業名	72300 ~ 道路新設改良事業費 72370	会計款	1 一般会計 7 土木費	*			略 (2) 利便性の高	い都市機能とネットワー			で強い社会基盤を整備します	-					
担当課	建設部 建設課 内線 2328	算 項目)長寿命化修繕計画、i	過疎地域持続的発展計ī	曲	1,242,13							
			3 但时初改以	又具							WASTER	D01	114	D4FD6#	Do C 4th		
1.争来(の目的・概要 (Plan)									耐雪 長事会化さ	総合計画等 主な指標 対策実施橋りょう数(累計)	11		R4実績 121橋	R6目標		
目的	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。			の新設、拡幅で うの架け替え、 用地の取得						多動できる道路環境が整って	/ス」と成げ		66.2%	7			
2.事業(の実施結果等(Do)								(千円)	4.令和5年	度予算編成(Action	1)			(千円		
	华山市		最終予算	R3	AM ()		R	1 決算 (b)	IMAR (A) (A)	II 4	R5予算	実施計画額		312,			
	歳出事業費 (職員人件費を除く)				算 (a)	当初予算 (c)			増減 (b)-(a)	要求額	財務部査定額	市長査定額(増減 (d)-(c)			
	□弗 / 汝p数准亩类弗 FF/40 F/40		535,5		169,098	598,020	820,883	594,686	425,588		7,905 403,820		,620				
44-4-017	国費 (道路整備事業費 5.5/10、5/10	,	260,3	95	61,771	322,800	322,800	314,645	252,874	212	2,750 178,400	182	,000		140,800		
特定財源	県費 ()							i								
	その他(地方債、飛騨高山ふるさと基金繰入金等)			00	48,400	162,000	182,600	125,600	77,200		0,000 179,000		,060		17,060		
一般財			74,1	95	58,927	113,220	315,483	154,441	95,514		6,155 46,420		,560		62,660		
個票枝番	主な事業内容		20.6	0.1	44.700	70,000	100 101	00.004	40.505	査定額	: 000 + ITT = E #0 IT /	説明					
	道路改良・道路舗装・側溝改良		69,8		41,799	73,600	106,431	90,304	48,505		5,200 中切58号線 ほか						
	橋りょう長寿命化改良		111,5		90,371	160,000	155,041	152,898	62,527		5,000 白山橋 ほか						
	旅行村線		352,7	99	35,992	363,000	557,991	350,565	314,573	130	0,000						
									i								
									!								
	ツェのはととするものでとせるロッとものでも! ミムビキロする事に こ ひにといばん	48+11++								※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。							
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合 3年 度事業実績、評価等(Check) R4.8実施	かめりより。		. 5 全新	」 M.在	業実績、評価等	(Check) P5.9	宇体	;	次入化に影響する/3	この公用に廻さないなど、記載自略	(次)する場合かめりま	9 .				
事業実績	・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策エ・交差点改良を実施した。 名張上切線 ・道路拡幅に必要な用地取得、物件補償を行った。	うを実施した。	事業実績	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 道 が 道 り 卒 の ち 発 り き 島 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も も も も 、 も 、 も も と も と	寿命化修繕計画(I期)にかいて事を実施した。 : 工事を実施した。 : 工事を実施した。 号線 良工事を実施した。	に基づき、長寿命化修4 施した。	実施した。 	担当課 予算要求 ポイント									
評価等	がある。	こついては事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要 あたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含 視点をもって取り組む必要がある。						手法などを十分検討し <i>†</i> 整備後の維持管理や将	11	財務部 査定の 考え方							
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りな 的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。	がら、計画	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R3完了 R4完了予定	次年度以降の考え方(担当課)	・地権者との	用を軽減する橋りょうの老 D交渉を継続して行うとと 進 (重要度の高い施設の	もに、引き続きコスト縮	隹進する。 減を図りながら、計画	✓ 維持·改善	市長査定の考え方	各新設に必要な経費を計上	設に必要な経費を計上					

事業シ	ート(令和4年度決算)						;	30_建設課	[_3									
事業名	72390 県営土木事業負担金	会計 款 算 項	7 土木費 2 道路橋りょう費			総合計画 ——		It 3 人と人がつない K (2) 利便性の高 或持続的発展計画	《共存する持続可能なまちをつく》 一クの構築	市長公約								
担当課	建設部 建設課 内線 2321	目	3 道路新設改	艮貨														_
	○ 目的・概要 (Plan) ・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利利用を図る。 ・急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図		概要 -市内	て、県が実施	重する事業	ミ への受益者負担の支出						総合計画	R3実	请 R4	1実績	R6目標		
2.事業(カ実施結果等(Do)		•								(千円)	4.令和5	年度予算	編成(Action))			(千円
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			R3 000	決算(a) 82,084	当初予算 (c) 最終予算 70,000 114,000) 決算 (b) 113,904	增減 (b)-(a) 31,820	要求	R5予算 R 85,000	財務部査定額 85,000	実施計画額 市長査定額(d) 85,0	(d) 增減 (d)-(c)		70,000 J)-(c) 15,000	
	国費()																
特定財源	県費()																
	その他()																
一般財	一般財源			000	8	32,084	70	,000,	114,000	113,904	31,820		85,000	85,000	85,0	00		15,000
個票枝番	主な事業内容											查点	2額		説明			
	県営土木事業負担金	85,0	000	8	32,084	70	,000	114,000	113,904	31,820		85,000						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	があります。										※入札に影響	するため公開に	適さないなど、記載省略(※	※)する場合があります	0		
事業実績	生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生			5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施 - 県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 - 般国道156号(在川町地内)、都市計画道路石浦下切線(千島町地内)、一般県道町方高山線 (丹生川町地内)、急傾斜地崩壕対策事業(三福寺町地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町、上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町)他							担当課 予算要求 ポイント							
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予 要がある。	算確保に向けた	収組みを進める必		事業進捗 がある。	事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進めるのがある。						財務部 査定の 考え方						
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・地域の生活環境の向上に必要な施設等社会基盤の早期完成に向け 望するとともに事業の調整を図る。	· 、県へ要 □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R3完了 R4完了予定	太大 宿小 寝止検討 寝上検討 (担当課) 大中度 以降の 考え方 (担当課)								市長査定 の考え方・財務部査定のとおり						

事業シ	ート(令和4年度決算)					30_建設	課_4									
事業名	74300 ~ 街路整備事業費 74310	会計	1 一般会計 7 土木費 4 都市計画費	1			3 人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちを まちづくり戦略 (2) 利便性の高い都市機能とネットワークの構築				『強い社会基盤を整備します					
担当課	建設部 建設課 内線 2328	目	2 街路事業費	ŧ		根拠計画										
1.事業(D目的・概要(Plan)									ŕ	総合計画等 主な指標	F	R3実績	R4実績	R6目標	
目的	・高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道 者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電 る道路の寸断を防止する。	概要 都市		役 道路 松之木干島線 福改良、歩道設置				都市計画道路(市 「安全で快適に移 ている市民の割合	動できる道路環境が整ってい	る」と感じ	57% 71.6%	57%	2			
2 車業(の実施結果等(Do)								(千円)	4 会和5年度	E予算編成(Action)			(千円	
<u> </u>	ンス心和不守(リン)			R	3		R	1	(+1)	T. 1 140 — 15	R5予算	実施計画	面額		946,600	
	歳出事業費 (職員人件費を除く)				決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要求額	財務部査定額	市長査定	市長査定額(d)		(d)-(c)	
	(10) Set 1 34 C 10) 1/		354,	,348	174,180	402,525	555,491	228,297	54,117	382,3	382,380	38	32,380	Ζ	△ 20,14	
	国費 (街路整備事業費 5/10)	176	,756	92,884	202,850	202,850	93,201	317	178,3	178,350	11	78,350		△ 24,50	
特定財源	県費(
	その他(都市計画税、公共施設整備基金繰入金)	139,	,100	66,198	199,115	63,824	8,981	△ 57,217	203,4	150 203,450	20	03,450		4,33	
一般財	一般財源				15,098	560	288,817	126,115	111,017	5	558 580		580		2	
個票枝番	主な事業内容									査定額		説明				
	都市計画道路松之木千島線		353.	.700	173,822	401,965	554,931	227,896	54,074	381.8	300 千島工区、松之木~江	名子工区				
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	があります。								※入札に影響するため	の公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があ	ります。			
3.令和3	年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施		▼	1	5.令和4年度事	工業実績、評価等	(Check) R5.8	実施	<u> </u>							
事業実績	・都市計画道路 松之木千島線 千島工区 路切詳細設計、用地取得、物件補償、道路改良を実施した。			(千島工区 道路整位 (松之木~ 道路計 した。 用地測量	到道路松之木千島線 (5) 夏工事を実施した。 備に必要な用地取得、物件 江名子工区) 田設計業務、トンネル設備 量業務、補償調査業務、不 備に必要な用地取得、物件	詳細設計業務、裁決申動産鑑定業務を実施し		審理対策業務を実施	担当課予算要求都市計ポイント	画道路の整備に必要な経費	きを計上					
									T i							
評価等	・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推 ・コロナ禍の影響を考慮した事業執行が必要である。	がある。 詳価等・財源確保		県に向けて国・県等へ積極	的に要望を行い、計画的	的な事業推進に努める	必要がある。	財務部査定の考え方・積算	内容を精査							
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進	歩を図る。 □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R3完了 R4完了予定		次年度 以降の 考え方 (担当課)・地元や引		世間との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。 世間との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。 一 廃止検討 □ R4完了 □ R5完了予定				部査定のとおり					

事業シ	ート(令和4年度決算)							30_建設誤	果_5												
事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費	会計 款 算 項		7 土木費 4 都市計画費			↓総合計画	うづくりの方向 ちづくり戦略 過疎地均		がり、安全で美しさと便:		存する持続可能なまちをつくる 7の構築		便利で強いれ	±会基盤を整備します						
担当課	建設部 建設課 内線 2321	目	3 中部縦貫目	3 中部縦貫自動車道等推進費																	
日的	か目的・概要(Plan) ・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の業の活性化等を図る。	・長野県の関係自治体と連携し、 ・民間推進団体の建設促進に向け			ある国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ナた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 及び国、県と事業関係者との事業調整							総合計	画等 主な指標	R3	実績	R4実績	R6目標				
2.事業(カ実施結果等(Do)											(千円)	4.令和:	5年度予算	算編成(Action))			(千円		
		R3						4				R5予	実施計画額			1,10					
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	222	決第	算 (a)	当初予算(c)		最終予算			增減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(d)		増減	(d)-(c)		
			1	1,090		315		520	520	506		191		1,070	1,070	1	,070		550		
	国費()																			
特定財源	県費()										i	-								
	その他()										i									
一般財				,090		315		520	520	5	506	191	-	1,070	1,070		,070		550		
個票枝番	主な事業内容 中部縦貫自動車道の整備促進		.090		315		520	520	_	506	191	金	定額 1,070		説明						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合 3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施	かあります。	V	1	5.令和	4年度事	業実績、請	平価等((Check) R5.	3実施			※入札に影覧	響するため公開に	- 適さないなど、記載省略(※	※)する場合があり;	ます。				
	・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量	5山IC〜丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・中部縦貫							自動車道(高山IC〜丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。						担当課 予算要求 中部縦貫自動車道等の事業促進に必要な経費を計上 ポイント						
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検: ・事業化に向けたアンケート調査の結果、非常に多い回答が得られ、 認できた。						との活動内容の	統合等に。	よる事務費の節減等に	こついて検討を行う			財務部 査定の 考え方								
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の仮 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。	売して実施 □ 産進を図る。 □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R3完了 R4完了予定		次年度 以降の 考え方 (担当課)	する。 ・事業主体	と協力した住民	説明会の開	た要望や提言活動を 開催や事業調整により い、事務費の節減を図	リ、事業の促進を図	施 [る。] [☑ 維持·改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R4完了 □ R5完了予定	市長査定の考え方								